

泌尿器疾患に対するロボット支援手術の臨床・経済的側面の包括的評価

研究協力のお願い

当科では「泌尿器疾患に対するロボット支援手術の臨床・経済的側面の包括的評価」という研究を日本医科大学中央倫理委員会の承認および研究機関の長（学長：弦間昭彦）の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の趣旨をご理解いただき、この研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究の対象

2013 年 1 月 1 日から 2030 年 6 月 30 日までに泌尿器疾患に対してロボット支援下手術または腹腔鏡下手術を受けた患者さん

2. 研究の目的

本研究では、日本医科大学付属病院で行われたこれらの泌尿器手術の診療データをもとに、ロボット支援手術や腹腔鏡手術の臨床的有用性や医療資源の使用実態を分析し、それぞれの術式の特性や課題を明らかにすることを目的としています。その結果は、患者さんの疾患や背景に応じて、どの術式がより適しているかを判断する際の根拠となり、今後の治療法の選択や術前説明の質の向上、安全かつ効率的な医療の提供に貢献することが期待されます。

3. 研究の方法

この研究は日本医科大学付属病院で実施する研究で、研究責任者は泌尿器科 近藤幸尋、研究事務局は泌尿器科 赤塚純です。

2013 年 1 月 1 日から 2030 年 6 月 30 日までの間に、日本医科大学付属病院泌尿器科において、泌尿器疾患に対してロボット支援下手術または腹腔鏡下手術を受けた患者さんを対象に、診療録情報および DPC（診断群分類）データを用いた後方視的解析を実施します。本研究では、格術式の術後治療成績（再発、生死）、安全性（術後在院日数、在院中の転帰など）、および医療費に関する情報を比較・検討します。

研究実施期間は実施許可日から 2030 年 12 月 31 日までです。

この研究は、外部機関との利益相反はありません。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：DPC データ（性別、年齢、BMI、術前治療の有無、血液検査、放射線画像、病理所見、手術関連データ、転帰、入院期間における医療費）など

情報の取得の方法：研究目的でない診療の過程で取得

作成日 : 2025 年 9 月 12 日

この研究に関する情報は、個人が容易に特定できないよう記号化した番号により管理されます。情報は施錠可能な泌尿器科医局内に設置された、インターネットに接続されていないパスワードのかかったパソコン用コンピュータに保管されます。患者さんの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄し、この研究に用いることはありません。なお、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

5. 問い合わせ先窓口

この研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学付属病院 泌尿器科 赤塚純

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号 : 03-3822-2131 (代表) 内線 : 24299

メールアドレス : s00-001@nms.ac.jp